

総代会制度について

総代会は、重要事項を決議する最高意思決定機関であり、総代会制度は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。

≫ 総代会制度について

信用金庫は、会員一人ひとりの意見を大切に「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念とした協同組織金融機関です。

したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。

しかし、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上困難です。そこで当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、会員を代表する総代によって構成され、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。

したがって、総代会は総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員の皆さまとのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

● 総代選考基準

- ① 資格要件
 - 当金庫の会員であること
- ② 適格要件
 - 地域における信頼が厚く、総代として相応しい見識を有していること
 - 当金庫の理念をよく理解し、当金庫との取引や経営内容も良好であること
 - 地域の情報に通じ、当金庫に対する協力者であること
 - 良識をもって正しい判断ができること
 - 総代会に出席可能であること
 - 総代選任時における年齢が原則として80歳未満であること

● 総代の選任方法

総代会は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

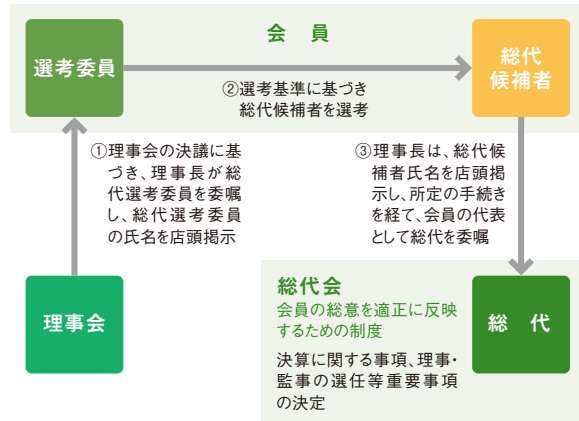
そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手順を経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選任する
- ② その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する
- ③ その総代候補者を会員が信任する

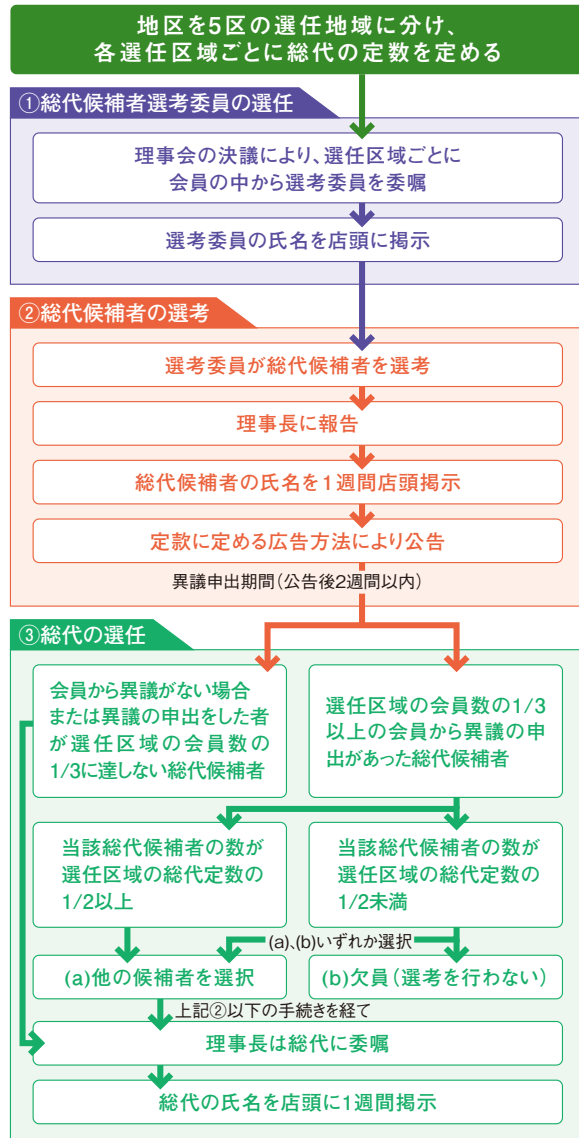
● 総代の任期と定数

- 総代の任期は2年です。
 - 総代の定数は150人以上210人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。
- なお、平成28年6月末日現在の総代数は178人です。

≫ 総代会のしくみ



[総代が選任されるまでの手続き]



総代会の決議事項

平成28年6月14日第73期通常総代会を開催し、次の事項について報告並びに付議いたしました。

●報告事項

第73期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

●決議事項

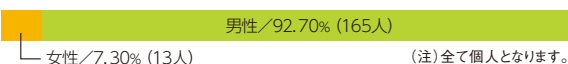
- 第1号議案 第73期 剰余金処分承認の件
 - 第2号議案 定款の一部変更の件
 - 第3号議案 理事選任の件
 - 第4号議案 監事選任の件
 - 第5号議案 退任理事および退任監事に対し退職慰労金贈呈の件
- ※以上の全議案について原案通り承認可決されました。

【総代属性性別構成比】

■年代別総代数

年齢	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	法人	合計
総代数	3	10	37	81	47	0	178
構成比	1.67%	5.59%	20.67%	45.25%	26.82%	0.00%	100.0%

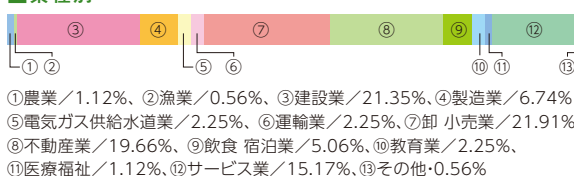
■男女別



■職業別



■業種別



総代の氏名等

(五十音順、敬称略)

選任地区	人数	氏名
1区 仙台市青葉区	54名	秋山 祐悦⑤、阿部 幸悦⑥、伊藤 俊一⑥、植木 憲郎⑥、内田 靖③、大内 修道④、小野 徳一⑥、小畑 秀一⑥、加藤 義晴⑥、金丸 英男⑤、亀田 治④、亀山 征弘④、川上 良雄⑥、菊田 浩之⑥、菊地 憲雄⑥、日下 敦②、熊谷 久榮⑤、後藤 隆博①、小林 照和①、齊藤 泰子⑥、佐藤 晶洋⑤、佐藤 奈美⑤、佐藤 一郎⑤、佐藤 建治③、佐藤 昇⑤、庄子 吉郎④、白木 進⑥、菅井 米⑤、鈴木 恵美子⑥、鈴木 雅俊②、鈴木 正巳①、大久 康博⑥、高橋 征太郎⑥、高橋 俊行⑤、高橋 秀一⑥、富樫 利和④、富澤 正三⑥、中川 英毅⑥、芳賀 充弘②、畠中 忠彦⑥、半澤 弘③、引地 雄一朗③、平賀 ノブ⑥、藤島 大介④、舩山 克也④、増田 義子⑥、松坂 卓夫①、松澤 宏樹⑥、山崎 浩之⑥、村上 青史⑤、山下 晴也⑥、吉田 潤一⑥、米城 キエ子⑤、渡辺 好啓①
2区 仙台市太白区・若林区の一部	32名	相原 文弘④、阿部 伴典⑥、板橋 祐一④、伊藤 静子⑥、伊藤 潤一⑤、岩本 和實⑥、大内 賽一⑥、大友 満治④、小野 毅⑥、加藤 伴典⑥、木皿 信吉②、木田 孝一⑤、木村 勝宏①、日下 覚実④、佐藤 喜一④、佐藤 征子⑤、鹿野 恭平②、庄子 とき子②、高野 晴雄④、田中 義久①、千葉 榮④、沼田 長衛⑤、沼田 均④、松浦 哲朗⑥、三浦 義澄①、百田 秀人⑥、守 健一郎①、吉田 健寿①、萬 弘義③、渡辺 光造⑥、渡邊 とよ子⑤、渡邊 美智子①
3区 仙台市宮城野区・若林区の一部	26名	阿部 節男⑥、阿部 嘉弘⑥、石井 吉雄⑥、伊藤 敬一郎①、加藤 明雄⑥、加藤 勝男⑥、加藤 博悦①、鎌田 晴義①、菅野 浩昭④、北谷 莊太郎④、今野 宏子③、佐々木 喜味工②、佐藤 達夫②、佐藤 秀世⑤、莊司 祐子⑤、鈴木 文夫⑤、長谷 豊④、平間 修一⑥、堀内 凱⑥、堀江 新一郎④、堀江 倉一①、堀越 良克①、守屋 長光⑥、山本 月雄⑥、渡邊 静男⑥、渡辺 毅浩①
4区 仙台市泉区・大崎市	25名	青木 定雄⑥、赤木 久一⑥、太田 芳明③、大場 勝義⑥、奥山 俊一②、菅場 靖夫⑥、川野 隆①、後藤 俊朗④、今野 信一②、佐々木 金也①、佐藤 政志⑤、菅原 裕典⑥、中鉢 勝夫②、戸村 恵一①、早坂 民夫①、早坂 了悦④、三浦 明⑥、嶺岸 義雄①、三宅 俊幸④、村山 重雄⑥、山崎 英樹⑥、油井 洋治②、我妻 孝④、鷺尾 広也①、渡部 志朗⑥
5区 塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町	41名	相原 誠一⑥、安住 陽一②、瀝美 陽一⑥、井川 博人⑤、内海 勝男③、遠藤 勝一⑥、遠藤 誠②、大町 睦夫⑥、尾形 喜孝⑥、小野 英行⑥、小幡 正樹⑥、柏 隆一⑥、片平 直道③、金世 良雄⑤、川崎 泰泉⑥、川村 勝男⑥、菅野 勝衛⑥、草刈 則夫④、小泉 幸彌⑤、小松 好夫④、佐浦 俊一郎③、櫻井 新一④、志賀 直哉③、嶋原 信男⑥、澁谷 昭一郎④、菅原 宏和①、杉原 茂⑥、鈴木 朝博⑥、鈴木 平勝⑥、鈴木 誠⑥、須森 明⑥、清野 薫⑤、関 弘明①、瀬戸 秀壽①、瀬戸 浩④、高橋 敬一⑤、丹野 六右衛門⑥、千田 忠一②、津田 孝造⑥、村上 晃嗣⑥、渡邊 薫⑥

(注)丸数字は総代の就任回数 委嘱期間 自 平成28年4月1日 至 平成30年3月31日

【会員数・出資金・出資配当率・純資産勘定】

	平成27年3月31日		平成28年3月31日	
	会員数	出資金額	会員数	出資金額
個人	33,742名	2,225,005千円	34,380名	2,217,451千円
法人	6,541名	515,666千円	6,661名	515,707千円
合計	40,283名	2,740,671千円	41,041名	2,733,159千円
出資配当率(年率)	4.00%		2.00%	
純資産勘定	19,492,630千円		20,676,043千円	

平成28年3月31日現在 出資1口の金額50円 会員の出資の最低限度額/1万円



●平成28年3月末の純資産勘定は、206億76百万円となりました。金額は出資配当金などの社外流出を行う前の金額ですが、処分後の金額は206億21百万円となり、これが当金庫の狭義の自己資本で、経営安定の基礎となっています。出資金は平成28年3月末で27億33百万円、会員数は前年より758名増加し、41,041名になりました。

●当金庫の会員資格は、当金庫の営業地区内にお住まいの方・お勤めの方・事業所をお持ちの方となっております。ただし、法人の場合は、常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額または出資の総額が9億円を超える事業者を除きます。また、会員となるためには、会員の出資の最低限度額1万円の出資が必要となります。